

行政評価票

⑤補助金・交付金

予算事業名	狭あい道路拡幅整備事業	010571	作成部課	建設部 建築住宅課
補助金名	狭あい道路拡幅整備事業補助金		作成者(内線)	指導係長 石田満弘 (77-22-562)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	V-5	安全なまちづくりの推進	予算費目(款)	08	土木費
小分類(中施策)	V-5-1	災害に強い生活基盤の整備	予算費目(項)	01	土木管理費
個別計画			頁	予算費目(目)	02 建築指導費
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	都市計画区域内の幅員1.8m以上4.0m未満の市道認定路線沿いで、道路後退用地を無償提供する人	意図	狭い市道を拡幅整備し、災害時の避難行動や防火活動、日照、通風、防火性能等に有利で良好な空間を確保する。	
内容	道路後退用地内にある門扉・塀・擁壁等の除去費、生垣・立木の除去又は移植費、後退後の敷地内に設置する擁壁等の築造費、道路後退用地の分筆・登記費用 例)・門扉の除去費…1m当たり11,000円 ・高さ1m程度の生垣の除去又は移植費…1m当たり12,000円 ・分筆登記費用…実費(限度額200,000円)				
開始年度	平成 11 年度	根拠法令・要綱等	浜田市狭あい道路拡幅整備事業要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H18決算	H19決算	H20予算	活動指標(実績)	単位	H18	H19	H20目標	備考
事業費(千円)	1,527	0	1,200	申請件数	件	4	0	3	
財源内訳									
国県支出金	667		540						
地方債									
特定財源									
一般財源	840		660						
職員数(人)	0.04	0.00	0.03						
人件費(千円)	246	0	178						
総事業費(千円)	1,773	0	1,378						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H18	H19	H20	長期目標等
	目標値	実績値					
整備済箇所数	目標値	3	ヶ所	3	3	3	H22年度末整備済箇所数 35ヶ所
	実績値	4		0	-		
	達成度	133%		0%			
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	目標値						
	実績値				-		
	達成度						

事業開始以来H18年度までは年平均で3件の申請があったが、H19年度は申請がなかった。主に建築確認申請が提出された際に、該当者に事業説明し申請の照会をしているが、建築確認申請件数の年度による大きな変動はない。市街地周辺部では虫食い状態で宅地化が進行しており、幅員4m未満の道路に接する宅地に建築される家は後を絶たない。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	4m未満の道路が多数存在し道路改良が難しい浜田市においては、本事業の必要性・有効性は高い。ただし、線的な整備ができないことから有効性は3とした。 道路後退用地は民地ながら使用制限を課しているうえ、土地の無償提供が事業の前提となっているので公平性は高い。H19.4.1から補助単価を改定しているため、妥当性は4とした。
	有効性	3	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業の目的、効果から現行制度は必要と考える。 事業の進捗を進める工夫を検討。

行政評価票

⑤補助金・交付金

予算事業名	緑と花の沿道推進事業	010572	作成部課	建設部 建築住宅課
補助金名	緑と花の沿道推進事業補助金		作成者(内線)	指導係長 石田満弘 (77-22-562)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	Ⅲ	自然環境を活かした潤いのあるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	Ⅲ-1	地域特性を活かした景観形成の推進	予算費目(款)	08	土木費
小分類(中施策)	Ⅲ-1-2	やすらぎのあるまちづくりの推進	予算費目(項)	01	土木管理費
個別計画			頁	予算費目(目)	02 建築指導費
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	用途地域内の幅員1.8m以上の公道に接する又は建築協定が締結されている敷地で、建築行為に伴って生垣等の植栽又はブロック塀等の除去を行う人	意図	市街地の公道沿いに樹木や花を植えてもらうことにより、緑豊かで安らぎと潤いのある空間を創出する。	
内容	生垣等の設置又はブロック塀等の除去それぞれ1回当たり10万円を限度として補助金を交付する。 例)・樹高1m以上の生垣の植栽(1列植え)…1m当たり5,400円 ・花壇の植栽…1㎡当たり6,700円 ・コンクリートブロック塀の除去…1m当たり3,700円				
開始年度	平成 14 年度	根拠法令・要綱等	浜田市緑と花の沿道推進事業補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H18決算	H19決算	H20予算	活動指標(実績)	単位	H18	H19	H20目標	備考
事業費(千円)	362	463	1,000	申請件数	件	6	6	12	
財源内訳	国県支出金	162	208	450					
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	200	255	550					
職員数(人)	0.06	0.06	0.11						
人件費(千円)	369	356	652						
総事業費(千円)	731	819	1,652						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H18	H19	H20	長期目標等
	施行箇所数	目標値	ヶ所	12	12	12	H22年度末施行箇所数 108ヶ所
		実績値		6	6	-	
		達成度		50%	50%		
	目標値						
	実績値				-		
	達成度						

【現状と課題】 事業開始からH17年度までは年平均で12件の申請があったが、H18～19年度は年6件に止まった。建築確認申請が提出された際や完了検査時に該当すると思われる人に照会しているが、建築確認申請件数の年度による大きな変動はない。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	潤いのある生活空間を創出するために積極的な行政の支援は必要であるが、補助制度があるから緑化に取り組むという事例は多くないので、必要性は3とした。 対象地区を用途地域に限定しているので公平性は3、H19.4.1から補助単価を改定をしているので妥当性は4とした。
	有効性	3	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	B	・美しい町並みづくりを住民の工夫で頑張ってもらいたい。 ・補助することが緑化することに直接結びついているか、制度利用者のアンケートなどを行い検討が必要。

行政評価票

⑤補助金・交付金

予算事業名	合併処理浄化槽設置助成事業	010323	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	合併処理浄化槽設置助成事業補助金(補助金)		作成者(内線)	集落排水係長 坂田佳則(77-22-449)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	04	衛生費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	保健衛生費
個別計画			予算費目(目)	06	公害対策費
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	浜田自治区・金城自治区内で、自宅に合併処理浄化槽を設置する者	意図	集合処理区域外や市町村設置型の浄化槽整備区域以外の地区において、浄化槽設置者に対して補助金を交付することにより、生活環境の向上あるいは公共水域の浄化が図られる。	
内容	浜田自治区内では浄化槽1基あたり、5人槽:332千円、7人槽:414千円、10人槽:548千円 金城自治区内では浄化槽1基あたり、5人槽:352千円、7人槽:441千円、10人槽:588千円の補助金を交付する。				
開始年度	平成 18 年度	根拠法令・要綱等	浜田市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H18決算	H19決算	H20予算	活動指標(実績)	単位	H18	H19	H20目標	備考
事業費(千円)	46,839	40,261	55,523	補助金交付基数 (5,710人槽)	基	127	109	153	
財源内訳									
国県支出金	18,217	15,919	18,507						
地方債									
特定財源									
一般財源	28,622	24,342	37,016						
職員数(人)	0.05	0.05	0.05						
人件費(千円)	308	296	296						
総事業費(千円)	47,147	40,557	55,819						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H18	H19	H20	長期目標等	
	浄化槽設置による 除去されたBOD(換算値:kg)の総量	目標値			4000	4000	4500	平成25年度までに除去されたBOD量を5,000kg/年とする
		実績値			3810	3270	-	
		達成度			95%	82%		
	目標値							
	実績値					-		
	達成度							

【現状と課題】 下水道処理(集合処理)が遅れている浜田市にとって、合併浄化槽設置は公共水域の浄化に役立っていることは明白である。この事業だけでなく多くの要素がある中で、たとえば浜田川河口付近のBOD値に関しては年々微減している状況である。

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	3	公益性については少し低い評価としたが、公共水域の浄化には有効な事業であり、有効性は高いと判断した。しかしながら、集合処理区域(下水道、農集等)との公平性は中心市街地ほど保たれていない。公共水域の浄化を考えると、今後市街地での下水道事業整備が進むまでの間は、継続事業として進めるべきとした。
	有効性	4	
	公平性	3	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・公共下水道等の整備が大幅に進まない中では、必要不可欠で有効な助成措置。

行政評価票

⑤補助金・交付金

予算事業名	合併処理浄化槽設置助成事業	010323	作成部課	建設部 下水道課
補助金名	合併処理浄化槽設置助成事業補助金(単独分)		作成者(内線)	集落排水係長 坂田佳則(77-22-449)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	V	快適で安心して暮らせる、にぎわいのあるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	V-6	上下水道等生活基盤の整備	予算費目(款)	04	衛生費
小分類(中施策)	V-6-2	快適な生活をもたらす下水道の整備促進	予算費目(項)	01	保健衛生費
個別計画			予算費目(目)	06	公害対策費
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	市の条例・規則・告示に基づく事業	
目的	対象	浜田自治区・金城自治区内で、自宅に合併処理浄化槽を設置する者	意図	集合処理区域(下水道認可区域内)内で数年後に下水道整備が予定されている区域において、浄化槽設置者に対して補助金を交付することにより、生活環境の向上あるいは公共水域の浄化が図られる。	
内容	浜田自治区内では浄化槽1基あたり、5人槽:332千円、7人槽:414千円の補助金を交付する。				
開始年度	平成 18 年度	根拠法令・要綱等	浜田市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H18決算	H19決算	H20予算	活動指標(実績)	単位	H18	H19	H20目標	備考
事業費(千円)	684	0	746	補助金交付基数(5,7,10人槽)	基	2	0	2	
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	684		746					
職員数(人)	0.01	0.00	0.01						
人件費(千円)	62	0	59						
総事業費(千円)	746	0	805						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標	単位	H18	H19	H20	長期目標等
	浄化槽設置による除去されたBOD(換算値:kg)の総量			60	0	
達成度	目標値					
	実績値				-	
	達成度					
【現状と課題】 事業開始からの状況変化等	下水道認可区域内において、供用開始時期より早く水洗化を希望する者への補助ではあるが、執行額は少ない状況である。認可区域外への浄化槽設置者への補助(補助事業)と同様、公共水域の浄化に役立っている。可能な限り、水洗化時期と下水道供用開始時期を調整しながら直接下水道を利用するようお願いしている。					

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	2	公益性や公平性において、限られた者のみが利用できる制度であり、当然評価は低くなる。しかし、補助事業としては対応不可能であり、個人の浄化槽設置時期を行政側で移動させることも、親切とは言いがたい。止むを得ずこの事業を実施する場合もあることから、現状維持で継続とすべきである。
	有効性	4	
	公平性	2	
	妥当性	3	
2次評価	総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水が遅れているので一定の助成はやむを得ない。 補助単価等の見直しが必要。